

練馬で暮らし働く人を応援したい！

日本共産党

前練馬区議会議員

薬師

たつや

やくし辰哉



練馬区議補選
4月10日告示・17日投票

プロフィール

- 1988年香川県生まれ
- 東京経済大学卒業
- 東京土建練馬支部で勤務
- 2014年、練馬区議会議員に初当選
- 2019年区議選は54票差で惜敗
- 趣味:サイクリング

あいさつ

「滞納や差し押えで苦しむ人を支えたい」

区議を志した私の原点です。「自己責任」押しつけの冷たい政治が続いてきたなか、コロナ禍でますます暮らしが苦しくなる人が増えています。練馬区は住まい確保へ独自の支援を行いました。が、まだまだ不十分です。さらに過度に財政難を強調し住民の暮らしを支える事業を削減してしまいました。

住民不在の再開発や大型道路が優先の区政から、安心して暮らせる区政へ切り替えるため、全力を尽くします。

練馬区民新聞

2021年12月号外 発行責任者：中川のり子
連絡先：03-3999-9270 ●日本共産党練馬地区委員会の見解を紹介します。

ご意見・ご要望は日本共産党練馬地区委員会へ ☎ 03-3998-5621

やくし辰哉の 4つのこだわり

1、練馬で暮らし、働く人を応援したい

- ①長時間労働をなくし、育休や生理休暇などの充実で働きやすい環境を作ります。また家事・育児を女性に押しつける社会のあり方を変えていきます。
- ②区の非正規職員の処遇改善と正規化で官製ワーキングプアをなくし、公契約条例で民間労働者の賃金の改善を図ります。
- ③区営住宅の増設や民間住宅の借り上げ、家賃補助など、住まいの貧困をなくします。

2、地球にやさしく、住民が決めるまちづくりを

- ①太陽光発電など再生可能エネルギーの普及と省エネなど地球温暖化対策をさらに促進します。
- ②陥没事故で地上に重大な被害を及ぼし、多額の費用がかかる外環道は中止を求めます。
- ③大泉第二中学校を4分割する前代未聞の道路計画は中止にします。

3、安心して子育てできる練馬をつくりたい

- ①すべての子どもたちを安心して預けられるよう認可保育園を増やすとともに、保育士の処遇の引き下げにつながるこれ以上の委託・民営化は許しません。さらに区立谷原保育園のような一方的な閉園に反対します。
- ②子育て世帯の負担を減らすため、学校給食を無償にします。

4、いくつになっても安心して暮らせる練馬を

- ①公費投入を増やして高すぎる医療・介護などの社会保険料を引き下げます。
- ②特養ホームの更なる増設へ取り組みます。また、介護従事者の処遇の底上げを図ります。
- ③病床が23区の1/2以下の病床しかないなかで、さらなる病院・病床の増設や三次救急医療の実施など、区外に行かなくても安心して医療を受けられる環境をつくりたい。

